

## 講演者及びパネリストプロフィール（大阪会場）

### < 講演講師 >

#### 池上 幸江（いけがみ・さちえ）

大阪大学薬学部卒業。大妻女子大学家政学部食物学科教授。食品安全委員会新開発食品専門調査会座長代理、遺伝子組換え食品等専門調査会専門委員。

1963年より厚生省国立衛生試験所大阪支所研究員、1966年より国立栄養研究所研究員、1987年ミシガン州立大学研究員、1992年国立健康・栄養研究所食品科学部長、1999年より現職。研究分野は主に食品機能性成分の生理作用と環境汚染物質の代謝。

### < コーディネーター >

#### 野村 一正（のむら・かずまさ）

時事通信社 解説委員兼整理部長

1946年茨城県下館市（現・筑西市）生まれ。

70年時事通信社入社、71年経済部に配属、大蔵省（現・財務省）、通商産業省（現・経済産業省）、運輸省（現・国土交通省）、農林水産省などの官庁、および家電業界、鉄鋼業界、運輸業界などの民間業界取材を担当。1989年から「農林経済」編集長、1998年から編集局編集委員を経て、2001年より現職。現在、葉たばこ審議会委員、水産政策審議会委員、食料・農業・農村政策審議会統計部会臨時委員、「食」と「農」の連携強化検討会委員、新たな需給調整システムへの移行の検証に関する検討会委員、バイオマス・ニッポン総合戦略推進アドバイザーグループ委員など。

### < パネリスト（講師を除く） >

#### 大津 恵子（おおつ・けいこ）

1998年から全大阪消費者団体連絡会事務局次長。

1995年から新日本婦人の会大阪府本部副会長。生産者と消費者を結ぶ産直運動に関わり、食の安全確保や日本農業発展のための活動に参加。大豆の産直運動では石川県の生産者と交流。

#### 戸田 登志也（とだ・としや）

財団法人日本健康・栄養食品協会大豆イソフラボン加工食品作業部会委員。

食品企業に研究員として従事し、京都大学、静岡県立大学、山梨大学、大阪大学、国立健康・栄養研究所等との大豆の健康機能に関する共同研究を推進。大豆および大豆イソフラボンに関する研究論文、著書等多数。工学博士。

#### 堤原 啓治（つつみはら・けいじ）

財団法人食品産業センター技術開発部次長

香川大学農学部卒業。1971年キューピー株式会社入社。

約25年間品質管理部門に従事し、経営企画室管理部長、生産本部副本部長など担当後、(株)サラダクラブ常務取締役を経て、2005年6月より現職。